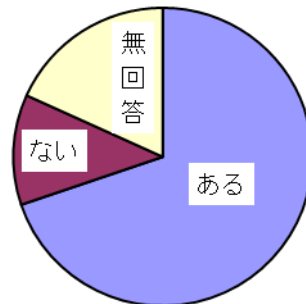


回答数 192件

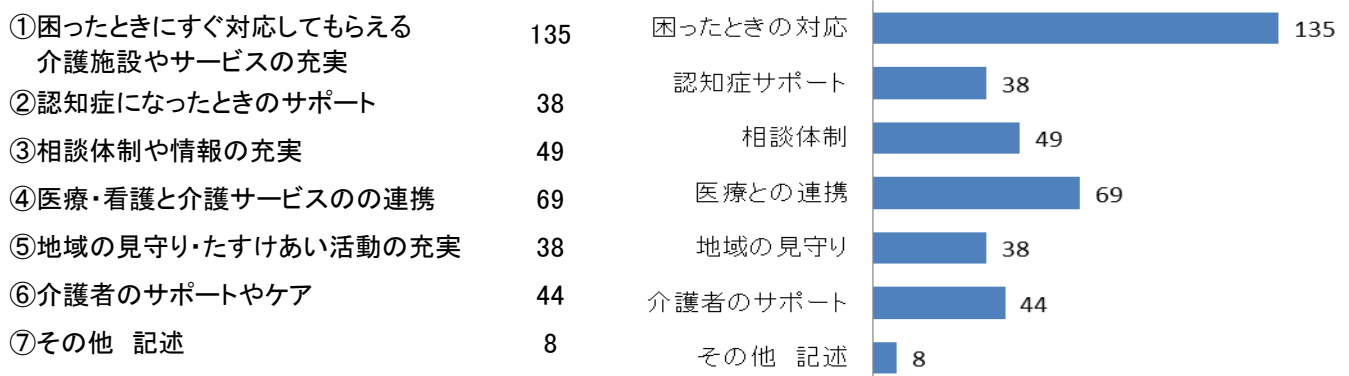
在宅介護について

1. あなたは在宅介護に不安がありますか？

- ①ある 134
- ②ない 23
- 無回答 35



2. 自分や家族に介護が必要になったとき、今まで通り地域でくらし続けるために、まず何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)



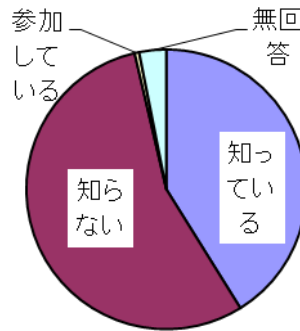
その他記述

- ・あたりまえの事ででき事がおかしい。でも、自分でできる事を考えていく。
- ・あまり自分の利益だけを考えない事。
- ・全部必要。
- ・十分な預金。
- ・一人暮らし世帯の訪問、見守りが必要。
- ・認知症の早めの検診の実施を。
- ・本来ならば理想的。今の核家族ではムリだと思う。
- ・積極的な関わり。
- ・まず現状を相談できる場所。
- ・施設ベースでの介護社会。
- ・保険料高額、自己負担を多くする。2年間支払っていません。払えません。

生ごみリサイクルについて

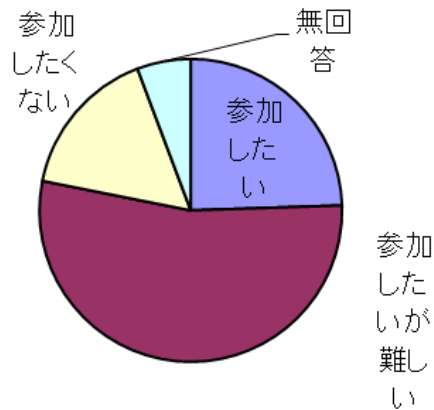
1. 生ごみリサイクルのモデル事業が、西東京市で実施されています（電動処理機等の購入者対象／H24～H25年度）。ご存知ですか？

①はい	79
②いいえ	106
③参加している	1
無回答	6



2. 今年 10 月、新たに生ごみ回収のモデル事業が始まる予定です（「生ごみ」のままバケツで個別回収を検討）。あなたも参加してみたいですか？

①参加したい	47
②参加したいが、難しい	103
③参加したくない	31
無回答	11

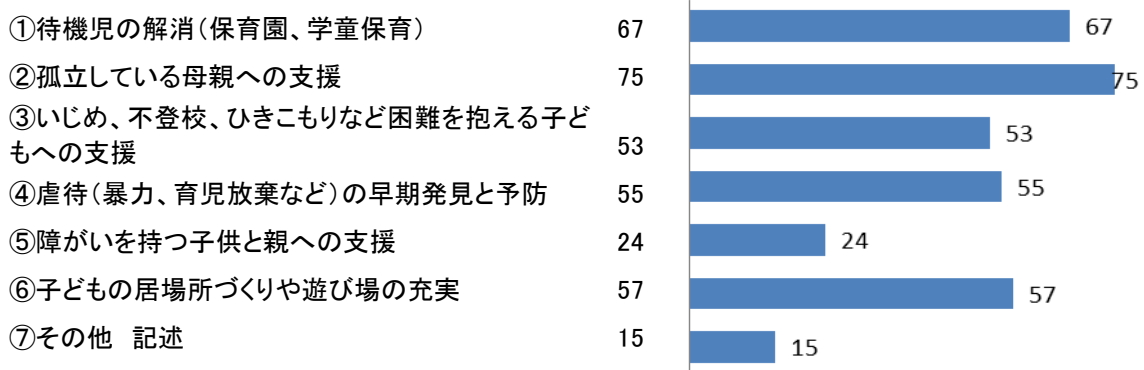


記述

- ・二人生活なので生ごみはあまりたまりません。
- ・生ごみリサイクルを継続してゆくつもり。
- ・生ごみは自宅で処理しています。
- ・89歳で動きがにぶい。
- ・できない
- ・情報、知識がないので答えられない。情報を流してほしい。
- ・行政はそこまでの必要性があるのか。ほかに行政でなければできないことをするのが行政が行うことと思います。
- ・生ごみよりプラ製品の多さが恐ろしいです。過剰な包装で大量なゴミを何とかしなければ。
- ・ベランダの肥料に使用したい。仕事をしているので難しそう。例えば、家でできる方法は。

子ども・子育て支援について

1. 地域の子ども・子育て政策として、いま生活者ネットワークで取り組むべき課題は何だと思えますか？
 (〇は2つまで)



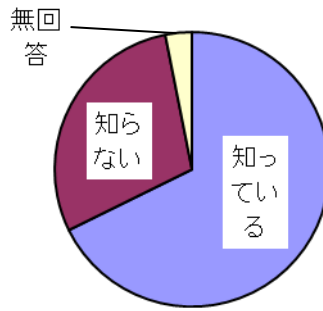
その他記述

- ・子どもの学力の2極化がすすんで、公立学校の先生は大変だそうです。子どもが早い段階で落ちこぼれないように手を差し伸べないと日本の未来が心配です。
- ・幼稚園無償化の適用の範囲拡大
- ・休日、放課後のさらなる学校庭開放
- ・これも親が考える。今は自分の考えで解決できる。子どもの事は親がやらないで誰がやる。
- ・全部
- ・親とは…学習教育の場。
- ・母親の教育
- ・高齢者と子どもの助け合い。
- ・子どもがいないので。
- ・小児病院を増やす。
- ・男女とも労働者の真の労働時間の時短を国に働きかける。
- ・若いお母さんたちが集う機会と場所の充実。皆で育てる環境整備。
- ・子どもを持っていないので良くわからないが。
- ・生活者ネットワークとして取り組むことが出来る課題は限られていると思うので、できることを挙げてほしいと思う。
- ・親への再教育
- ・現状を知る労力、システム。行政はどのようなことをされてるのか。議員も含めて。
- ・どの項目も大切。子どもの駆け込み場ができればと思う。
- ・孤立している子供の支援

田無・保谷庁舎の統合問題について

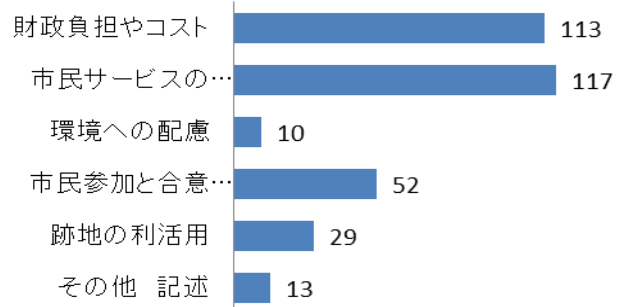
1. 現在、西東京市で本庁舎の整理統合が検討されていることをご存じですか？

①はい	130
②いいえ	56
無回答	6



2. 庁舎の整理統合にはさまざまな課題があります。検討にあたり、まず何を優先すべきと考えますか。

①市の財政負担やコスト	113
②庁舎機能と市民サービスの向上	117
③環境への配慮	10
④市民の参加と合意形成の促進	52
⑤跡地の利活用	29
⑦その他 記述	13

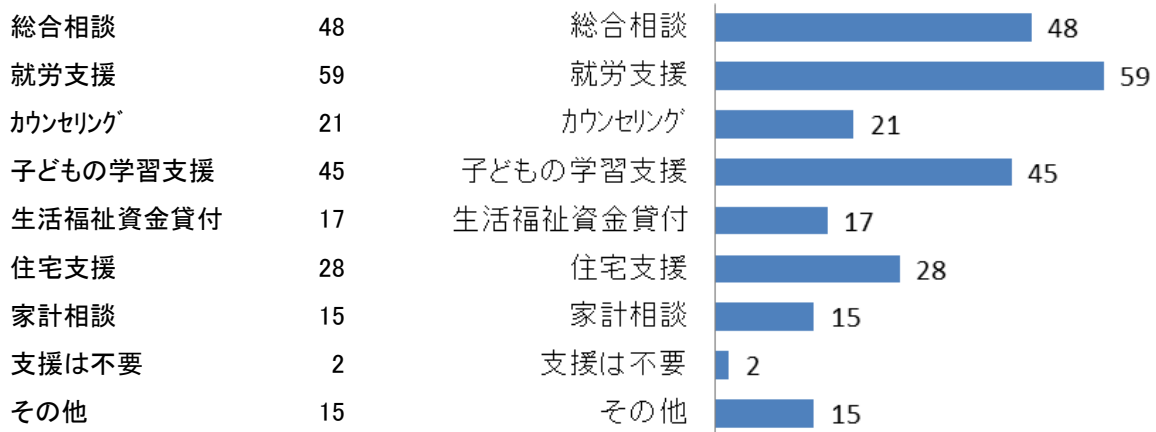


その他記述

- ・どれも大切だと思いますので、つけられません。
- ・市民が市庁舎へ行かなくとも事たりる体制づくり。練馬区には入れないか、田無に戻れないか、東村山などと新区にならないか。
- ・一般市民へのサービスは各出張所で事足りるようにし、庁舎はできるだけコンパクトに。
- ・練馬との境に家があるので、田無はこれから年をとるので、大変と思いますが、進んでいくのでしかたなし。
- ・百年の計で新たに考えること。
- ・今のままがよい
- ・学校教育における愛国心の向上
- ・一時的な統合。
- ・田無駅と保谷庁舎間バスの例でも解る。検討だけで何もしていない。
- ・西東京市という名称がいや。田無保谷市としてほしい。
- ・どの地域からもアクセスのしやすさ(はなバスの充実)。
- ・庁舎への交通手段の確保
- ・今まで通りではいけませんか。
- ・統合して1か所にしてもいいが、庁舎は残して有効利用した方がよい。
- ・行政コスト削減と人件費低減
- ・物を作る時、現状の建物をどのように直せば利用できるか考える。新しい建物は作らない方がよい。議員は物を作る会議だけでなくどんな人でも利用できる建物を作る。職員の教育。思い上がりが見うけられる。

広がる貧困世帯について

日本の貧困率は先進国の中でもトップクラスです。予期せぬ病気やリストラなどでいったん貧困に陥ると、心身のバランスを崩したり、子どもの学習の機会が奪われるなど貧困の大きな損失です。決して当事者だけの問題ではありません。どんな支援が必要だと思いますか。(複数回答)

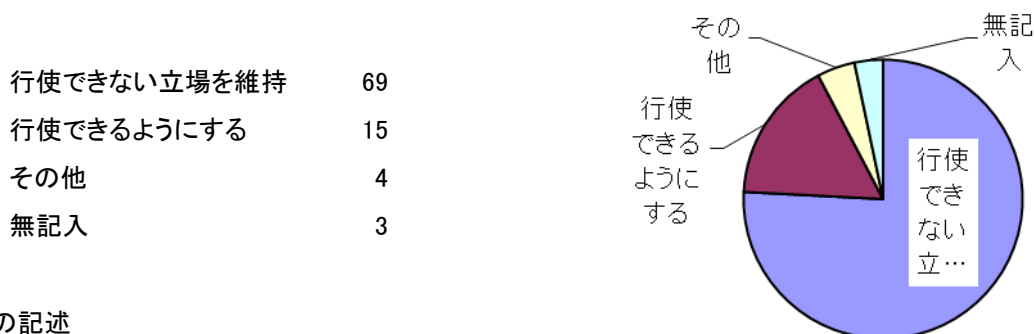


その他記述

- ・基本的には社会参加を促す事。
- ・日教組の除去による教育の健全化
- ・貧困世帯になる前のその場しのぎでない家計費の計画性とかを教える場が必要。
- ・当事者のゆるやかなつながり。
- ・大半が本人の努力不足。勉強しないで、怠けるなど。
- ・自助努力すること。
- ・原因の徹底的究明
- ・貧困はやむを得ない
- ・就労場所の拡充(市内に企業誘致)。
- ・子どもを育てようとする人の確認。父親か母親かどちらかが悪の根源である場合が多いから。
- ・高度成長期は中流が多く、貧困は少なかった。自己と政策の変化か？
- ・職の流動化と Pay for Job
- ・日本は職業を選ばなければ働く場はある。支援に頼りすぎる社会は不要。金をどこから出すのか。健康な人に対し、支援は必要なのか。職を選びすぎる。働きたくても働けない人はどう考えられるのか。
- ・生活保護施策の充実。経済、教育、社会参加。
- ・富裕層の自責とノブレスオブリージュを。(ムリだ)

集団的自衛権について

日本政府は「集団的自衛権は憲法九条に違反するので行使できない」との見解を維持してきました。しかし安倍首相はこの解釈を大転換し「行使容認」に向け6月国会を目途に閣議決定すべく準備を進めています。あなたは集団的自衛権についてどう考えますか？



その他の記述

- ・国際的視点発想で。
- ・何とも言えません
- ・外交力とは経済力、軍事力、抑止力等の総合力である。設問が不適當。
- ・自衛権行使にあたって、権利と制限をはかりにかけべき。

その他の理由

- ・戦争に巻き込まれる心配がある。
- ・何らかの理由をつけて戦争へと運ぶ可能性が大いにあるから。
- ・国民の意志に反し戦場へ向かわせ戦闘による犠牲者や心理的ストレスを抱える若者が増えることにつながる。
- ・国民の多くは無関心。戦争を無くすことに傾注すべき。
- ・憲法改正は時の政権で軽々しく変えるべきではない！現行憲法は遵守義務が国会議員にも課されているはず？
- ・むずかしい。
- ・日本人として憲法9条は改正すべきである。
- ・国民の意見をもっと時間をかけて聞くべきである。安倍さん個人が何か名前を売ろうとしているように感じる。
- ・日本は食料だけでも61%を海外に頼っています。石油・天然ガスなどすべてを輸入に依存しているなら輸出国と治安向上に助けなければ、国内での生活は不可能となる。自分の国の事だけ考えてはダメ。
- ・決まってしまったので残念です。
- ・条件付き。
- ・時の政府の解釈で実施すべき事柄ではない。これは憲法違反である。
- ・シナ共産党の拡大阻止に日本は軍備を整(おも)うべし。China は中国の英訳では●。まず、シナ(支那)を言葉の整理から始め、軍備に努力を。
- ・第3次戦争はさけるべき。地球と人類の生命が危険。学習の必要あり。知識不足のため。
- ・①憲法に違反しているから。②国民の声をきいていないから。
- ・行使容認の狙いの一つには、朝鮮半島有事への備えがあるとのことからです。
- ・法的に違反である。外交力で対応する。戦争は一部の人間の利益はあるが、私達の生死は守れない。
- ・戦争を知る最後の世代(終戦時小学1年)として戦争だけは絶対ごめん！
- ・なくすずしで戦前に戻る様。時の政権の意志で、変わってゆく危険。安倍首相は経済界の圧力とあわせ、武器の製造輸出を進めたいように思える。
- ・行使できない立場を維持することは抑止力につながる。

- ・人道支援優先でよい。
- ・平和憲法は遵守すべき。集団的自衛権の論理はイジメ容認にもなる(他人のケンカの肩を持つのと同じ)。
- ・戦争を経験した者としては、①を支持するのは当たり前のこと。
- ・行使容認がくせものと思います。拡大解釈されそうでこわい。
- ・「戦争します」の態度が戦争を呼ぶ。また、憲法9条に関わらず、憲法・法律を司法を通さずに「解釈の違い」を一部の人のごり押しで進めていくのは独裁社会ではないか？
- ・集団的自衛権が抑止力につながるという論理に合理性を見出せないから。被害、加害の記憶はいずれも一生涯人間を苦しめるから。
- ・平和憲法があるから戦争をされなかったのではない。アメリカがいたから。これからは相互依存。
- ・集団的自衛権を閣議決定という方法で行使できるようにした政府のやり方に問題がある。
- ・難しい立場になる事は間違いないので。
- ・集団的自衛権は憲法九条に違反すると思うから。
- ・日本だけ兵士を出さず、お金で済ませようとするのは、もう許されないから。
- ・個別的自衛権があれば良い。戦争は絶対嫌だ。世界の一員になるために戦争参加なんてもってのほか。
- ・行使容認は国や国民が危機的な状況に遭遇した場合の自衛措置であることを忘れて自衛権の行使ということだけをとり上げ、議論が一人歩きしている。行使できない立場とは何か、自滅賛成なのか？という問題でしかない。
- ・生活、国民の命を守るため。
- ・権力は文面(法整備があろうと)では行き過ぎも出てくる。民意が不信に起こったらその都度審議すべき(急ぐ場合もあるが)。
- ・武器を取らず、話し合い外交を貫くことで世界各国から信頼を得たい。
- ・自衛のためとして行使できるようにすると、なしくずしに戦争に巻き込まれてしまう。絶対に戦争に加わることがあってはならない。
- ・日本は諸外国に対し、態度を明確にして、専守防衛の態度を堅持するべきだと思います。
- ・世界情勢は変化して、国対国の関係も昔とは全く違っている。自国の安全は自国で守るため、バランスのとれた方向へ舵を取ることは必要。
- ・アメリカに頼りすぎる。基地をなくす。基地が必要と思われる方は自分の住まいの近くに移動すべき。
- ・戦争をしない立場を守り、世界にその立場を広げることが平和な社会を築くことである。
- ・行使容認の大きな理由の具体的な説明がない。
- ・「憲法九条」は戦争は二度と繰り返してはいけないとはっきり言っているのだから、守らなければいけない。